

社会福祉法人さくらの家福祉農園

事業報告書

2021 年度

目 次

目次	p1
はじめに	p2
I 法人の動向		
1 法人の概況	p3
2 土地及び建物	p3
3 法人組織	p4
II 指定就労継続支援 B 型事業所・指定生活介護事業所「さくらの家福祉農園」の動向		
1 事業所の行事	p8
2 利用者数の状況	p8
3 就労継続支援 B 型事業所利用者工賃支払状況	p10
4 地域生活サポート事業	p10
5 ボランティア・実習等受け入れ状況	p11
6 職員研修・出張状況等	p11
III 「障がいサポート コールラビ」の動向	p13
IV 農園事業の動向		
(1) 農園売上	p15
(2) 作業支援		
1) 農園作業	p15
2) 所外作業	p20
3) 販売活動	p21

はじめに

勝田理事長より(就任時ご挨拶)

この度理事長に就任しました勝田俊一と申します。

さくらの家福祉農園とは社会福祉法人になる前、畑の前にあったプレハブ小屋の時代からのつながりですから、もう 20 年以上になるでしょうか。まさか自分が理事長になるとは思っておらず、引き受けた今でも力不足を心配している次第です。

私が福祉の仕事に就いてから約 40 年、福祉業界も様変わりしました。好し悪しは別として、多くの福祉制度において市町村の実施運営責任が重くなり、また措置から契約になったこと、従来の社会福祉法人だけではなく NPO 法人や会社組織が運営母体の所も増えるなど、多くの変化が見られます。

福祉制度を利用する側からすれば、利用の選択肢が増えて良い面も多いのですが、利用する側の情報収集や意思表示が必要となっています。またそれらが難しい方々への相談支援、意思決定支援の重要性が増しています。

さくらの家福祉農園は社会福祉法人としては小さな組織ですが、「農福連携」(農業と福祉の連携)が注目されている近年では将来性も高いものと思っています。これからも皆様のご支援を頂きながら、さらに通う人も働く人も居心地の良い所となるよう微力を尽くしてまいります。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

西水前理事長退任時ご挨拶(6月定時評議員会時ご挨拶より抜粋して一部改変)

約 10 年前、法人が認可される前から尽力され、さくらの家の骨格を作って頂いた大谷理事長から理事長職を引継ぎ、そこから長く理事長を務めさせていただきましたが、先日事務局会及び理事会で理事長職を降りさせていただき旨お話しさせていただきました。

これからも理事としてさくらの家の発展に尽力させて頂ければと思います。

大谷弘初代理事長のご逝去について

本年 1 月 5 日に、ご自宅にて永眠されました。

現在本法人が当地で活動できているのも、法人設立以前から土地をお貸しいただいたり、地域住民の理解を進めるためにお骨折りいただいたりなど、故人が法人の礎を築くために大変ご尽力くださったからに他なりません。

当地は、故人が理事長職を降りる際に「将来、さくらの家が活動するのに土地がねえじゃ困んだろうからよ。」と言ってご寄付くださったものです。

私たち法人役員、職員はそれら数々のご恩に感謝しながら法人運営、利用者支援に携わっていかねばなりません。

謹んでご冥福をお祈り致します。

I 法人の動向

1 法人の概況

法人の沿革

平成 18 年 10 月 25 日	社会福祉法人さくらの家福祉農園、神奈川県より認可
平成 18 年 11 月	第 1 回理事会が開催され、大谷弘理事が初代理事長に就任
平成 18 年 12 月	施設建物建築着工
平成 19 年 3 月	建物完成
平成 19 年 4 月 1 日	指定就労継続支援B型事業所「さくらの家福祉農園」の運営開始 石井尚美理事が施設長に就任
平成 20 年 4 月 1 日	指定相談支援事業所「さくらの家」の運営開始
平成 20 年 11 月	大谷弘理事が再任され、2 期目の理事長に
平成 20 年 12 月	法人化 1 周年記念報告会開催
平成 21 年 4 月 1 日	村井雄一朗氏が施設長に就任
平成 22 年 4 月 1 日	指定生活介護事業所「さくらの家福祉農園」の運営開始
平成 22 年 11 月	大谷弘理事が再任され、3 期目の理事長に
平成 22 年 11 月	法人化 3 周年記念報告会開催
平成 24 年 4 月 1 日	指定特定相談支援事業所「障がいサポート コールラビ」の運営開始
平成 24 年 5 月	大谷弘理事長より法人借用中の土地を寄附 法人 5 周年記念式典、土地寄贈式開催
平成 24 年 11 月	第 4 期理事会が発足し、西水紘一理事が第 2 代理事長に就任
平成 25 年 4 月	法人の管轄が神奈川県から伊勢原市に移譲
平成 25 年 4 月 1 日	指定就労継続支援 B 型事業所の指定更新
平成 26 年 11 月	西水紘一理事が理事長(2 期目)として再任(第 5 期理事会スタート)
平成 28 年 4 月 1 日	指定生活介護事業所の指定更新
平成 28 年 11 月	第 6 期理事会西水紘一理事長(3 期目)
平成 28 年 11 月 23 日	法人設立 10 周年記念収穫感謝祭開催
平成 29 年 3 月	社会福祉法改正により、評議員選任解任委員会が組織され、初めての会合を開催し、次期評議員 7 名を選任
平成 29 年 4 月 1 日	社会福祉法改正により、新規評議員会(7 名体制)の任期(4 年)が開始
平成 29 年 6 月 14 日	社会福祉法改正による新規定時評議員会が開催され、次期理事を選任
同日	第 7 期理事会が発足し、理事長として、西水紘一理事が再任(4 期目)
平成 31 年 4 月 1 日	指定就労継続支援 B 型事業所の指定更新
令和元年 6 月	第 8 期理事会が発足し、理事長として、西水紘一理事が再任(5 期目)
令和 3 年 6 月	第 9 期理事会が発足し、勝田俊一理事が第 3 代理事長に就任
令和 4 年 4 月 1 日	指定生活介護事業所の指定更新

2 土地及び建物

土地や建物に変更等はありません。

- (1) 土 地 ・ ・ ・ ①伊勢原市岡崎字天神下 7020 番 3 雑種地 84 m²
 ②伊勢原市岡崎字天神下 7021 番 1 雑種地 884 m²
- (2) 建 物 ・ ・ ・ 伊勢原市岡崎字天神下 6940 番地 2
 社会福祉法人さくらの家福祉農園事務所 1 棟
 木造合金メッキ鋼板ふき 2 階建 延床面積 207.03 平方メートル

(3) 建物平面図

2階平面図

生活介護事業所用 作業室 19.83 m ²	生活介護事業所用作業室 16.77 m ²	倉庫 5.59 m ²	
就労継続支援B型事業所用 作業室 19.83 m ²			
	吹抜	階段	職員用 トイレ 3.21 m ²

1階平面図

就労継続支援B型事業所用 作業室 26.85 m ²	加工室 7.16 m ²	就労継続支援 B型事業所用 作業室 8.95 m ²	更衣室 7.16 m ²	浴室 3.3 m ²	トイレ 4.4 m ²	
				脱衣所 3.85 m ²	洗面室 4.95 m ²	
事務室 13.63 m ²						
	玄関	階段	収納	更衣室 4.17 m ²	更衣室 4.17 m ²	通用口

3 法人組織

(1) 法人役員

役員2年の任期満了により、6月に改選があり全役員が再任されました。理事長には新しく勝田俊一理事が就任しました。これまで5期9年にわたって理事長を務めた西水紘一理事は、理事長職を退きましたが、理事として在職しています。

	氏名	任期
理事長	勝田 俊一	2021年6月定時評議員会～2023年6月定時評議員会
理事	西水 紘一	2021年6月定時評議員会～2023年6月定時評議員会
	打田 行男	2021年6月定時評議員会～2023年6月定時評議員会
	石井 正道	2021年6月定時評議員会～2023年6月定時評議員会
	遠藤 岳洋	2021年6月定時評議員会～2023年6月定時評議員会
	村井 雄一朗	2021年6月定時評議員会～2023年6月定時評議員会
監事	中村 逸郎	2021年6月定時評議員会～2023年6月定時評議員会
	高橋 香織	2021年6月定時評議員会～2023年6月定時評議員会

(2) 評議員

評議員の任期が満了であったため、評議員の改選が行われました。全員が再任されています。

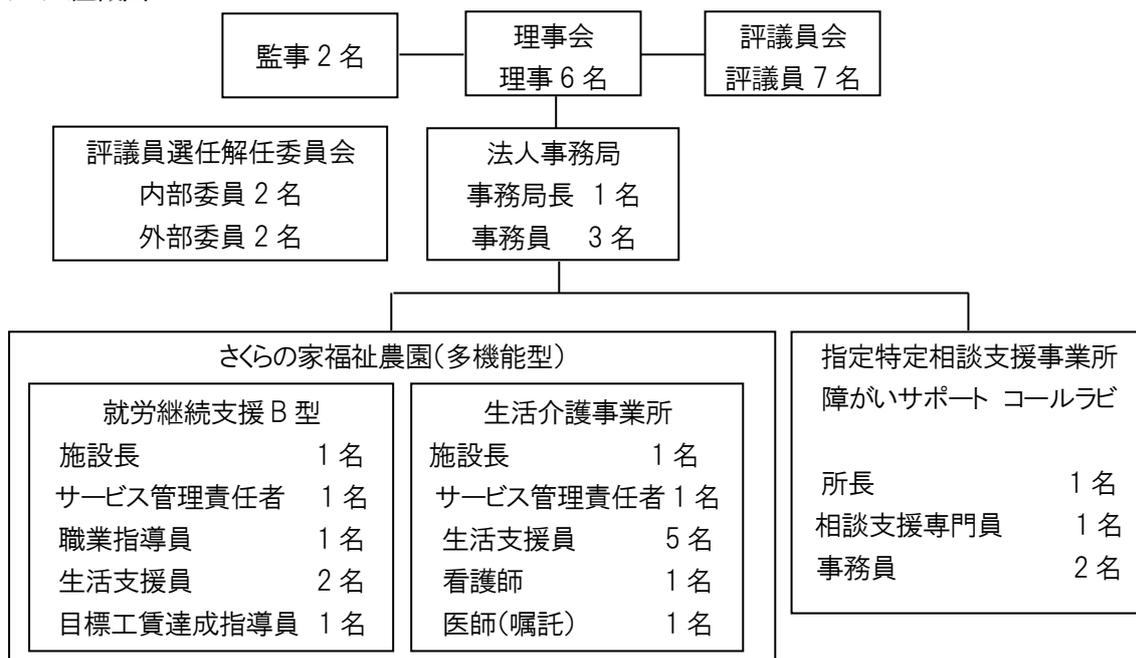
	氏名	任期
評議員	大杉 あや子	2021年6月定時評議員会～2025年6月定時評議員会
	吉田 清子	2021年6月定時評議員会～2025年6月定時評議員会
	衛藤 信恭	2021年6月定時評議員会～2025年6月定時評議員会
	中台 和子	2021年6月定時評議員会～2025年6月定時評議員会
	塚本 富男	2021年6月定時評議員会～2025年6月定時評議員会
	川上 道子	2021年6月定時評議員会～2025年6月定時評議員会
	長谷 智子	2021年6月定時評議員会～2025年6月定時評議員会

(3) 評議員選任・解任委員

6月定時評議員会終結時までで任期が満了であったため、5月の理事会で改選されました。全員が再任されました。

	氏名	区分	任期
評議員選任・解任委員会	脇坂 真平	外部委員	2021年6月定時評議員会～2023年6月定時評議員会
	船渡川 忍	外部委員	2021年6月定時評議員会～2023年6月定時評議員会
	中村 逸郎	内部(監事)	2021年6月定時評議員会～2023年6月定時評議員会
	坂本 満	内部(職員)	2021年6月定時評議員会～2023年6月定時評議員会

(4) 組織図



(5) 理事会開催状況

理事会は、5月、10月、3月に定例会を開催し、6月に臨時理事会を開催しました。

5月定例会は、前年度の事業報告及び決算が主議題でした。

6月に行った臨時理事会は、理事の改選に伴う理事長の選出を議題としたものでした。

10月定例会は、職員の就業規則および給与規程の改定を行っています。また、法人表彰で職員の勤続10年表彰を行いました。

3月定例会は、さくらの家福祉農園利用者1名が新型コロナウイルスに感染した影響で、書面決議と致しました。主な議題は、2022年度事業計画と予算編成でした。

日程・内容等については、次のとおりです。

2021年度 理事会実施状況

月	日	名 称	審議事項	可否	出席者
5	26	5月定例理事会	第一号議案 2020年度補正予算 第二号議案 2020年度事業報告 第三号議案 2020年度決算報告 第四号議案 次期評議員選任・解任委員会委員の選出 第五号議案 次期評議員候補者の推薦 第六号議案 評議員選任・解任委員会の招集事項について 第七号議案 評議員会の招集事項について 報告事項;理事長業務報告	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決	5名 (欠席1名) 監事2名
6	16	臨時理事会	第一号議案 理事長の互選	可決	6名 監事2名
10	20	10月定例理事会	第一号議案 「社会福祉法人さくらの家福祉農園 就業規則(常勤・非常勤)」の改定 第二号議案 「社会福祉法人さくらの家福祉農園 給与規程(常勤・非常勤)」の改定 報告事項;理事長業務報告 その他;法人表彰	可決 可決	5名 (欠席1名) 監事1名 (欠席1名)
3		3月定例理事会	第一号議案 職員給与規程「特別手当」の変更 第二号議案 2022年度事業計画について 第三号議案 2022年度予算について 第四号議案 職員就業規則および非常勤職員就業規則の改定	可決 可決 可決 可決	書面決議

(6) 評議員会開催状況

定時評議員会は、2020年度はコロナの影響で書面決議となったため、2年ぶりに対面での開催となりました。主な議題は、2020年度決算および任期満了となった役員を選任でした。

2021年度 評議員会実施状況

月	日	名 称	内 容	可否	出席者
6	16	定時評議員会	審議事項 第一号議案 2020年度決算の承認 第二号議案 次期役員を選任 報告事項 第一号報告 2020年度事業報告	可 選任	6名 (欠席1名) 理事長・事務局長

(7) 評議員選任・解任委員会開催状況

今年度は評議員の改選の年でしたので、5月に評議員選任・解任委員会を行いました。前任者が全員理事会から推薦され、そのまま選任されました。

(8) 法人事務局会開催状況

法人体制強化の一環として法人事務局会を行いました。今年度も、新型コロナウイルスの影響で会合は3回のみとしました。

2021年度 法人事務局会実施状況

月	日	主な内容	出席者
4	29	法人・事業所状況、5月定例理事会について	西水理事長、勝田理事、村井
8	18	法人・事業所状況、10月定例理事会について	勝田理事長、村井
1	7	法人・事業所状況、3月定例理事会について	勝田理事長、村井

(9) 監事の活動状況及び会計指導

今年度も、「確実な経理処理」「透明性のある会計内容」実現のために、定期的に会計指導を受けています。また、法人ガバナンス強化の意味合いからも2名の監事が理事会に参加し、意見をいただいています。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で1月に関しては、定期会計監事監査は資料を監事宅に持込で行っていただきました。また、3月定例理事会は、書面決議となっています。

2021年度 会計指導・監事(会計監事監査含)状況

月	日	内 容	備 考
5	11	決算会計指導	日本コンサルティング
5	12	定期会計監事監査	高橋監事(1~3月分含む)
5	14	事業監事監査	中村監事
5	26	5月定例理事会	中村監事、高橋監事
6	16	臨時理事会	中村監事、高橋監事
7	28	定期会計監事監査	4~6月分 高橋監事
10	20	10月定例理事会	中村監事、高橋監事
10	22	定期会計指導	日本コンサルティング
11	4	定期会計監事監査	7~9月分 高橋監事
2	4	定期会計監事監査	10~12月分 高橋監事

II 指定就労継続支援 B 型事業所・指定生活介護事業所「さくらの家福祉農園」の動向

1 事業所の行事

昨年度同様今年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの行事が中止になっています。

2021 年度 利用者行事・自治会活動

月	日	内容	備考
4	1	キックオフ・オリエンテーション	
7	5	避難訓練	火災想定
8	13	パラリンピック聖火採火式	於)さくらの家福祉農園
8	15	パラリンピック聖火フェスティバル	於)伊勢原市民文化ホール
12	29	冬期休暇	～1/3
3	14	避難訓練	地震想定
利用者自治会メンバー会議 毎月第 1 月曜日午前中に開催			

2 利用者数の状況

① 2021 年度の利用者登録数推移

就労 B の利用者は、年度途中で 1 名が退所されました。生活介護では、年度途中で 1 名が利用開始しています。

事業種別	性別	2021.4.1 現在	2022.3.31 現在
就労継続支援 B 型事業所 登録利用者 (定員 10 名)	男性	8 名	7 名
	女性	3 名	3 名
	合計	11 名	10 名
生活介護事業所 登録利用者 (定員 10 名)	男性	7 名	8 名
	女性	4 名	4 名
	合計	11 名	12 名
合計		22 名	22 名

生活介護事業所利用者障害支援区分の 2018 年度～2021 年度の推移は次表のようになっています。2021 年度末現在の平均区分は、区分 4 の利用者が 1 名増えたため、若干増加しています。

生活介護事業所利用者 障害支援区分推移(平成 30(2018)年度～2021 年度)

	区分	平成 30 年度末現在	2019 年度末現在	2020 年度末現在	2021 年度末現在
障害支援区分	3	4 名	3 名	2 名	2 名
	4	7 名	7 名	7 名	7 名
	5	1 名	1 名	2 名	3 名
	平均	3.75	3.82	4.0	4.08
合計		12 名	11 名	11 名	12 名

② 2021 年度 各月の就労継続支援 B 型事業所利用者延人数と日平均利用者数

年度当初に 1 名が利用開始されましたが、11 月初めに 1 名が退所されたため、2020 年度からは増減がありませんでした。3 月に新型コロナウイルス感染症の発症者があった影響で、また、それ以外の月にもコロナワクチンの接種日と接種後の副反応による体調不良で休まれた方などの影響で、年間通じて利用率は低調に推移しました。2019 年度には 2800 人日であった総延利用者数が、2020 年度には 2548 人日と 9%の下落率(前年度比 91%)でしたが、今年度はさらに下落し 2362 人日でした。

2020 年度比 92.8%で、コロナ禍前（正確にはコロナ発生年度）の 2019 年度と比較すると 84.4%で 15.6%の下落率となっています。

稼働率も 4 月に入った利用者が 5 月、6 月に検査入院したために 80%台になり、それ以外の月でも軒並み 90%台前半でした。トータルでも 91.6%と 2020 年度（97.6%）よりも 6%下落しています。例年稼働率が低下する 8 月は、ワクチン接種者が多かったことも影響して 87.6%と低調でした。

日平均利用者数も年々減少しており、2019 年度 11.0 人/日、2020 年度 9.8 人/日で、2021 年度は 9.16 人/日でした。

各月の状況	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日数(日)	22	22	22	22	21	22	21	22	21	20	20	23	258
総延利用者数 (人日)	208	186	189	198	184	205	198	211	199	195	182	207	2362
日平均 利用者数(人)	9.45	8.45	8.59	9.0	8.76	9.32	9.43	9.59	9.48	9.75	9.1	9.0	9.16
月稼働率(%) [※]	94.5	84.5	85.9	90.0	87.6	93.2	94.3	95.9	94.8	97.5	91.0	90.0	91.6

※月稼働率は、利用定員に対する割合。

③ 2021 年度 各月の生活介護事業所利用者延人数と日平均利用者数

生活介護では 6 月に利用者が 1 名増加したため、それ以降の稼働率が増加しました。8、9 月の稼働率は例年下がりますが、今年度は特にコロナワクチン接種が開始されたことが起因しています。2 月に稼働率が下がっているのは、時期的なものと考えられます。3 月に伸び悩んでいるのは、3 月初旬にコロナ感染者が出たため、出勤を控えられた方がいたためです。

昨年度の日平均利用者数の年間総数は 10.3 人/日でしたが、今年度は 10.8 人/日と若干の増加でした。生活介護の出勤率は 91.2%で、昨年度（91.5%）とほぼ同じでした。

総延利用者数は、昨年度（2688 人）よりも約 100 人増加しており、収入増に繋がっています。

各月の状況	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日数(日)	22	22	22	22	21	22	21	22	21	20	20	23	258
総延利用者数 (人日)	221	224	252	249	215	238	235	250	234	229	199	239	2785
日平均 利用者数(人)	10.0	10.2	11.5	11.3	10.2	10.8	11.2	11.4	11.1	11.5	9.95	10.4	10.8
月稼働率(%) ^{※1}	100.4	101.8	114.5	113.2	102.4	108.2	111.9	113.6	111.4	114.5	99.5	103.9	107.9
出勤率(%) ^{※2}	91.3	92.5	95.4	94.3	85.3	90.2	93.3	94.7	92.8	95.4	82.9	86.6	91.2

※1 月稼働率は、利用定員に対する割合。

※2 出勤率は、日平均利用者数/現員数×100

3 就労継続支援 B 型事業所利用者工賃支払状況

2021 年度中の就労継続支援 B 型事業所利用者に対する工賃支払状況は次の表のとおりです。5 月と 11 月は、ボーナスを支払っています。

平均工賃月額 は 15,892 円で、昨年度 (11,118 円) よりも増加しました。これは一昨年度 (13,284 円) よりも多い金額となっています。コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどの販売会が中止となりましたが、2020 年度に開始した豆のパッキング事業と夏野菜苗の販売増加によって、売り上げが近年では最高額を記録したことによります。

2021 年度 就労継続支援 B 型利用者の前年度の各月の工賃支払対象者数及び工賃支払総額

対象工賃月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支払対象者(人)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
支払総額(千円)	139	225	125	132	124	137	132	338	133	131	122	138	1875
延べ勤務時間数	820	735	746	785	732	812	783	838	784	772	722	814	9344
延べ勤務日数	208	186	189	198	184	205	198	211	199	195	182	207	2362

今年度の平均工賃 15,892 円/月/人(時給 201 円)

4 地域生活サポート事業

地域生活サポート事業とは、障害者の地域生活を支え、地域での生活へ移行を推進するために実施するもので、県・市が補助を行う事業です。今年度も地域交流等支援事業を実施しました。

本法人では、利用者が地域で豊かに暮らすことをサポートするために、地域住民・家族・施設職員が一体となって基幹作業である農作業をともに体験する機会を作り、お互いを知り障害者の権利を考えながら、地域福祉の在り方を探る取り組みとしています。

今年度も昨年度と同様、コロナ禍の影響で開催が危ぶまれる中開催しています。実績は次表のとおりです。いずれのイベントもコロナ禍の影響もあり、参加人数は少数でした。

稲作体験は田植え、田の草取り、稲刈りを行いました。11 月には例年、収穫したもち米を使用して「もちつき会」を行ってきましたが(昨年度は中止)、コロナの影響と「もち」の保健衛生面を考慮して、今後は「焼き芋会」とすることにしました。

3 月には夏野菜の種まき体験と、利用者の一年間の頑張りに対して軽食(食事は中止。個装の菓子)で慰労しました。

余暇行事としては、今年度も主に陶芸を行いました。こちらも継続して法人の看板用の野菜の陶板づくりを行っています。

2021 年度 地域交流等支援事業 実績一覧

実施日	イベント名	内容	参加者(人)	備考
6/5(土)	アグリフェス	稲作体験Ⅰ(田植え)	12	
7/23(金・祝)	アグリフェス	稲作体験Ⅱ(田の草取り)	17	
9/20(月・祝)	アグリフェス	稲作体験Ⅲ(稲刈り)	21	
11/23(火・祝)	アグリフェス	焼き芋会	36	
3/21(月・祝)	アグリフェス	夏野菜の種まき体験	22	
3/28(月)	慰労会	軽食	29	
月 1 回	余暇行事	陶芸	94	全 12 回開催

5 ボランティア・実習等受け入れ状況

2021年度中の実習やボランティアの受け入れ状況は次のようになっています。

昨年度同様コロナ禍の影響で、ボランティア活動については、特別な場合を除いて受け入れを行っていません。

神奈川県社会福祉協議会による教職員免許を取得するための実習の一環として行われている福祉介護現場体験の受け入れは、今年度は行いませんでした。その代わりではありませんが、フェリシアこども短期大学から保育士養成のための実習の打診があり、1名について受け入れました。

養護学校の保護者見学会や中学生等の職業体験も中止になっています。

2021年度中のボランティア・実習・見学等受け入れ状況

団体名等	回数(日)	参加者数(人)	備考
個人ボランティア	0	0	受け入れなし
利用見学(体験兼)	1	1	6月より利用開始
大住中学校 職場体験	0	0	中止
本町中学校特別支援級 職業体験	0	0	中止
教職員予定者介護等体験	0	0	神奈川県社協の事業、受入廃止
フェリシアこども短期大学	10	1	

6 職員研修・出張状況等

2021年度に参加した職員の研修・出張等の状況は次の表のとおりです。

研修等に関してもコロナ禍の中、研修会も次第に再開され、特にオンライン研修会が増加しています。

今年度は、サービス管理責任者の更新研修に村井が、実践研修に坂本が参加しました。坂本はサービス管理責任者になる資格を得ています。村井も向こう5年間の資格が更新されました。

伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会の就労支援部会に箕輪が全4回参加しました。また、年末には権利擁護部会の研修会に「さくらの家福祉農園」として、全支援員(短時間除く)がオンラインで参加することができました。

2021年度 職員研修状況

実施日	研修内容	参加者
5/28	伊勢原市協議会/就労支援部会	箕輪
9/6	就労支援部会(オンライン)	箕輪
10/3	MOA 自然農法ガイドライン更新研修	村井・清水
11/26	就労支援部会(オンライン)	箕輪
12/20	権利擁護部会 研修会(オンライン)	村井・全支援職員
1/12	就労支援部会	箕輪
1/20	サービス管理責任者更新研修(藤沢)	村井
3/2、3	サービス管理責任者実践研修(相模原)	坂本
3/9	湘南東西地区合同施設長会研修会(オンライン)	村井

2021年度 職員出張・会議等状況

月	日	内容等	場所等	参加者等
4	1	手続き	法務局(厚木)	村井
4	1	手続き	横浜銀行・中栄信用金庫	塩崎
5	28	湘南西地区施設長会	オンライン	村井
6	2	ケアカンファレンス	さくらの家福祉農園	
6	22	理事長交代挨拶	伊勢原市役所	勝田理事長、酉水理事、村井
6	23	保健所申請に関する打ち合わせ	さくらの家福祉農園	村井、風間、川口
7	12	手続き	法務局(厚木)	村井
7	14	聖火フェス説明会	伊勢原中央図書館	村井
9	2	個人面談	さくらの家福祉農園	
9	10	保健所申請に関する打ち合わせ	さくらの家福祉農園	村井、風間、川口
9	14	個人面談	さくらの家福祉農園	
9	17	個人面談	さくらの家福祉農園	
9	27	個人面談	さくらの家福祉農園	
9	30	ケアカンファレンス	さくらの家福祉農園	村井、坂本ゆ
10	15	湘南西地区施設長会	オンライン	村井
11	12	平塚市ヒアリング	さくらの家福祉農園	村井、坂本み、箕輪
11	25	ケアカンファレンス	平塚市役所	坂本み、坂本ゆ
12	8	ケアカンファレンス	伊勢原市役所	村井、坂本ゆ
12	15	ケアカンファレンス	グループホーム ワンフォーライフ	村井、坂本ゆ
1	12	嘱託医打ち合わせ	さくらの家福祉農園	村井
2	4	手続き	法務局(厚木)	村井
2	6	ケアカンファレンス	さくらの家福祉農園	村井、坂本ゆ

Ⅲ 「障がいサポートコールラビ」の動向

表-1 は障害種別の相談支援利用件数および全体に占める割合および2020年度と2021年度の増減割合です。

2021年度の総件数は306件で、2020年度と比較すると54.4%となっています。コールラビの方針で、相談者数を減らしているためです。

現在の相談者は、さくらの家福祉農園に通っている方が中心となっていますので、知的障害者からの相談の割合が半分を占めています。

表-1 障害種別相談支援利用件数及び全体に占める割合および増減

障害種別	2021		2020	前年比(%)
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	
身体障害	44	14.4	58	75.9
重症心身障害	0	0	3	-
知的障害	154	50.3	323	47.7
精神障害	108	35.3	166	65.1
発達障害	0	0	6	-
高次脳機能障害	0	0	5	-
児童(知的)	0	0	0	-
その他	0	0	2	-
合計	306		563	54.4

表-2 は、相談支援台帳登録者数および割合および一人当相談件数です。

一人当たりの相談件数は4.3件/人で、2020年度の4.7件/人とほぼ同数でした。

現在の相談者の中心はさくらの家福祉農園に通う方であるため、知的障害児者中心となっています。

精神障害者の一人当たり相談件数が多い状況に変化はありません。

表-2 相談支援台帳登録者数および割合および一人当相談件数

障害種別	2021			2020
	人数(人)	割合※(%)	一人当相談件数※※	人数(人)
身体障害児者	4	5.6	11	9
重症心身障害児者	2	2.8	0	3
知的障害児者	52	73.2	3.0	81
精神障害	8	11.3	13.5	15
発達障害	4	5.6	0	7
高次脳機能障害	1	1.4	0	3
その他	0	0	0	1
合計	71		4.3	119

※ 割合は登録者全体数に対する各障害種別の割合
 ※※一人当相談件数は、表-1の2021年件数を表-2の2021年人数で除した数値。

表-3 は、支援方法別件数およびその割合および前年比です。

前表までの内容と同様に相談件数を減らしたため、各支援内容別件数も減少しています。

前年度と同様の傾向が見られており、関係機関と連携を取る場面がより多くなっています。相談者の移行手続き等が増えていることも起因しています。

表-3 支援方法別件数およびその割合および前年比

支援内容	2021		2020		前年比(%)
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	
訪問	44	14.7	92	13.2	47.8
来所相談	81	27.0	164	23.5	49.4
同行	26	8.7	28	4.0	92.9
電話相談	37	12.3	135	19.3	27.4
電子メール	0	0	10	1.4	-
個別支援会議	10	3.3	34	4.9	29.4
関係機関	102	34.0	265	37.9	38.5
その他	0	0	0	0	0
合計	300		699		42.9

相談内容別件数は表-4 になります。

例年どおり「福祉サービスの利用に関する支援」が、全体の半分を占めています。

前表までと同様、相談者の移行を進めているため、前年比は全てマイナスとなっています。

表-4 相談内容別件数

相談内容	2021		2020		前年比(%)
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	
福祉サービスの利用に関する支援	182	57.1	330	47.2	55.2
障害や病状理解に関する支援	1	0.3	30	4.3	3.3
健康医療に関する支援	33	10.3	82	11.7	40.2
不安解消・情緒安定に関する支援	60	18.8	81	11.6	74.1
保育教育に関する支援	0	0	7	1.0	-
家族関係人間関係に関する支援	16	5.0	113	16.2	14.2
家計・経済に関する支援	11	3.4	16	2.3	68.8
生活技術に関する支援	9	2.8	19	2.7	47.4
就労に関する支援	5	1.6	13	1.9	38.5
社会参加・余暇活動に関する支援	1	0.3	3	0.4	33.3
権利擁護に関する支援	0	0	3	0.4	-
その他	1	0.3	2	0.3	50.0
合計	319		699		45.6

表-5 は、年度別市町別サービス利用計画等作成件数を示しています。

昨年度出した法人の方針により、相談件数を減少させる方向性となったため、今年度はさらに相談件数を減少させました。さくらの家福祉農園利用者以外の方は他事業所への移管を行っています。

表-5 年度別市町別サービス利用計画等作成件数

市町名	2021		2020		2019	
	モニタリング	計画	モニタリング	計画	モニタリング	モニタリング
伊勢原市	52	21	95	44	95	320
平塚市	0	7	1	8	1	14
その他(2020年度は、横浜市、座間市、秦野市、松田町)	2	1	4	3	4	32
合計	54	30	100	55	100	366

Ⅲ 農園事業の動向

(1) 農園売上

第 1 表は、2021 年度の販売区分別売上金額(2020 年度の金額との比較:販売区分別表)を示しています。

農園販売は、さくらの家で直売したものです。外部販売は学校販売やバザー等での販売、わくわく広場出荷はわくわく広場に卸して販売したもの、卸販売はわくわく広場以外の小売店に卸したものです。受注は、花壇整備などの作業受注および豆のパッキング、業者などからブルーベリーの摘み取り依頼を受けたもの等です。個人注文は、個人からブルーベリーの摘み取りを受注したもの、農家からの野菜苗の受注生産が主な内容です。

2021 年度の売上は、2017 年度レベル(約 270 万円)まで回復した昨年度よりもさらに上積みすることができました。この要因は、受注作業(豆のパッキング事業)や個人注文(夏野菜苗の農家からの受注)が好調だったことによります。

新型コロナウイルス感染症の影響は今年度も引き続いており、学校販売や各種バザー等外部販売は今年も中止でした。外部販売は 2019 年度の 38.4%であった 2020 年度よりも、さらに減少して 61,440 円でした。わくわく広場の売り上げが増加したのは、昨年度もそうでしたが、切花の出荷をさらに増量したことが寄与しています。

第 1 表 販売区分別 2021 年度売上金額および 2020 年度売上金額(販売区分別表)

販売区分	2021 年度売上金額(円)	2020 年度売上金額(円)	前年比(%)
農園販売	655,194	995,813	65.8
外部販売	61,440	120,200	51.1
受注(作業・生産)	1,059,130	769,285	137.7
わくわく広場出荷	517,214	376,184	137.5
卸販売(わくわく広場以外)	40,070	67,170	59.7
個人注文	420,390	351,400	119.6
合計	2,753,438	2,680,745	102.7

第 2 表は、2020 年度の作業区分別売上金額(2019 年度の金額との比較と前年比:作業区分別表)です。2017 年度から 2018 年度は-29 万円、2018 年度から 2019 年度は-18 万円と減少傾向にありましたが、2020 年度にかけては約 60 万円(128.7%)のプラスとなりました。

加工品は、前述したとおりコロナ禍の影響で多くの販売会が中止となったことにより、売り上げの中心であるジャム類や柚子胡椒の販売量が減少したことが減収の要因です(後述の加工品のパートでは売上内容に切花が入っています。)

作業に関しても新型コロナウイルスの影響が出ています。

野菜苗は、大口の注文は増加しましたが、その分農園での販売に力を入れることが難しくなって減収となりました。

花苗は少量多品目の生産で売り上げが若干の伸びを示しました。

切花はわくわく広場への出荷数を増やしたため、かなりの伸びを示しています。

ブルーベリーは夏季の酷暑のため、収穫回数・人員を減らしたため減少しています。

米は、後述しますが栽培管理が功を奏しました。

土は、2020 年度に大口の注文があったため、2021 年度は大きく減少しています。

豆類パッキングは、2021 年度は年間通して行ったため(2020 年度は途中から)の増加です。

第2表 作業区分別 2021年度売上金額および2020年度売上金額および前年比(作業区分別表)

販売区分	2021年度売上金額(円)	2020年度売上金額(円)	前年比(%)
加工物品	404,490	508,955	79.5
作業	100,000	137,000	73.0
野菜苗	573,558	645,458	88.9
花苗・ハーブ苗	347,179	322,297	107.7
切花	174,447	93,141	187.3
野菜	74,061	112,726	65.7
ブルーベリー	246,775	334,700	73.7
米	48,240	14,140	341.2
土	750	56,100	1.3
その他	16,008	23,943	66.9
豆類パッキング	767,930	432,285	177.6
合計	2,753,438	2,680,745	102.7

(2)作業支援

1)農園作業

①花卉・花苗生産

春～夏播きは、60品目120品種を栽培しました。例年通り気候の変化に合わせて苗の管理を行うことができたため、全体的にいい状態で育苗することができました。また、生産総数は昨年度とあまり変わりませんでした。一回に播く種の量を半分程度に減らし、時期をずらして播種回数を増やして管理に手が回るようにしたため、その時々でいい状態の苗を出荷し続けるようにできました。

夏～秋播きは、60品目131品種を栽培しました。ビオラ・パンジー・ストックは、昨年度は上手く発芽させることができなかったため、今年度は播種後の管理は寒冷紗をかけた外の苗置台で行いました。盆明けの播種では高温でうまくいかず、その後に播種した物は、比較的順調に生育しました。ただ、開花が12月と遅かったため、播種後の管理方法を再考し、11月中の開花を目指したいと思います。

また、年内の気温がやや高く推移したことにより、ネモフィラやディモルフォセカなどが大株となってしまったため、ポットサイズを上げて対応しました。年明け後の気温は低温となり、2月下旬まで開花することがなかったため、気候のいい時期にいい状態で販売を開始することができました。

生産に携わった利用者は、花卉類は種の大きさが極微小なものからヒマワリのように大きなものまでであるため、人によって播種できるものが違っていました。

鉢上げに関しても、自分のやりやすさや好みで積極的にできるものや、難しいものがありました。105mmポットへの鉢上げに関しては比較的どの方もできていました。一人ずつ作業場所を別けるなど、周りを気にせず自分の作業に集中できる環境を整えるように配慮しました。

花卉に関するすべての作業(播種、鉢上げ、定植、花壇整備)に携わり、回数を重ねた利用者は、花と草の見分けができるようになるなど自信もつき、「自分がやらなくて」という責任感も出てくるようになりました。そのため、作業に当たって職員が声をかけなくても、植える深さや位置がずれることなく適切にできるようになりました。

②加工品生産

今年度も昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響で販売イベントや学校販売が行われなかったため、加工品の売上に大きな影響がありました。そのようななかでも販売する工夫を色々行いました。ハーブティーは以前1パックにティーバッグが3つ入りでしたが、お客様の意見を取り入れ、4つに増やしました。

わくわく広場ではジャムのディスプレイの仕方が以前より厳しくなり、目立たなくなりましたが、リピーターの方が増加したのか、好調な売行きでした。

昨年度試行的に販売した切り花が好評であったため、今年度は年間通して販売するようにしました。お盆やお彼岸などの時季には多数納品し、頻繁に売行きの確認に行き、水替えも行いました。その甲斐あって売上は飛躍的に伸びました。

ハーバリウムマグネットは、HOYA 様からの受注生産の依頼を今年度も受ける事ができたため、伊勢原市の「自殺防止キャンペーン」の受注と共に多数納品することができました。マグネットの作成は何年も続いていますが、以前と変わらず新たなデザインを生み出すことができています。利用者同士で刺激を合い、面白味のある可愛いものができています。細かい作業が苦手な利用者も他の方が作ったものを見て、模倣することで上手く作れるようになってきました。

館内清掃や納品で使っている車の洗車を行うなど、自分たちで使っている身近なものを大切に作る時間をつくることで、物への感謝や大切に作る気持ちを意識できるようになっています。また、加工室で使用するものを、利用者と一緒に相談しながら買い物をすることで、それを使用する利用者が使いやすいものを選ぶようにもしています。

第3表 加工生産品の品目別売上高(2019年度～2021年度)

品名	内容・備考	2021年度 売上高(円)	2020年度 売上高(円)	2019年度 売上高(円)
切花		174,447	93,141	16,808
ハーバリウムマグネット	HOYA様受注分中心	136,600	154,630	118,810
ブルーベリージャム	ブルーベリージャム・甘さ控えめブルーベリージャム	87,552	116,623	128,650
みかんジャム	みかんジャム・みかんマーメイド	86,528	84,582	114,790
柚子胡椒	柚子胡椒(赤)・柚子胡椒(黄)	39,600	35,400	46,950
ハーブティー	カモミール以外	13,900	21,000	22,050
カモミール	カモミール花	11,500	12,550	14,600
料理用ハーブ	ロリエ・ローズマリー等	7,600	6,000	15,350
ブラックベリージャム	収量が少ないため、数量限定品	6,600	10,800	45,000
和茶	ごぼう、にんじん、くず、桑、すぎな、どくだみ	6,400	10,200	22,700
乾燥唐辛子	トウガラシ(鷹の爪)実	2,600	2,700	6,500
ドライ素材リース等	ドライフラワー・ケ・アロマライナッツ・アロマドライフラワー・リース等	2,000	11,930	26,942
ワイルドストロベリーティー	ワイルドストロベリー葉	600	4,200	-
ポップ		400	27,650	100,300
その他	大山マラソン応援旗、切り干し大根等	1,950	1,390	4,200
ワイルドストロベリージャム	収量が少ないため、数量限定品	-	6,000	22,200
バジリコソース	内販のみ	-	2,000	7,200
ハーバリウム	各種花卉類	-	900	22,400
贈答用加工品セット	ジャム・お茶類	-	-	8,000
合計		578,937	601,696	743,450

※第2表の加工品売上金額が404,490円であるのは、切花を別建てしているため。

③野菜苗生産

2020年度に育苗ハウスを1棟建設したため、苗生産能力が上がり2019年から2020年にかけては約150%の収益増となっていました。2021年は大口注文の農家さんが減ったことが影響して、前年比約90%でした。

トマト類は前年度とほぼ同様の収益でしたが、ナス類やピーマンが増加しています。レタス類も増加しましたが、キャベツ、キュウリなどは減少しており、これらは農家さんからの受注が大きな割合を占めているため、農家さんからの注文状況によって変動してしまいます。ズッキーニやタマネギ苗についても同様の傾向にあります。

農家さんからの需要も増えてきたため、さらに生産能力を上げるために年度末に更にもう1棟ビニールハウスを建造しています。

1万円以上売り上げた野菜苗について、第4表に掲げています。

第4表 2019年度から2021年度の種類の野菜苗売上高(1万円以上のもの中心)

品目名	売上高(円)			備考
	2021年度	2020年度	2019年度	
トマト類	211,515	210,449	157,297	トマト・ミニトマト・中玉トマト合計(やまゆり生協様分含)
レタス類	115,255	91,934	84,129	玉レタス・サニーレタス類合計
ナス類	51,710	39,750	54,195	ナス・長ナス合計(やまゆり生協様分含)
ピーマン	42,999	30,370	25,905	2品種(やまゆり生協様分含)
キャベツ	40,543	60,784	-	農家受注分
キュウリ	27,399	78,745	31,395	複数品種
カボチャ	17,948	15,262	11,424	複数品種
パプリカ	17,029	18,228	16,380	2品種
トウガラシ類	16,966	12,267	15,637	鷹の爪、甘長、ししとう
ブロッコリー	10,921	13,395	-	農家受注分
ズッキーニ	450	33,650	19,420	農家受注分
タマネギ	-	11,500	-	農家受注分、2019年度までは実績なし
その他	20,823	29,124	14,711	売上高1万円未満の野菜苗の合計
合計	573,558	645,458	430,493	

④野菜生産

第5表 2018年度から2021年度の種類の野菜売上高上位10傑

品目名	売上高(円)				備考
	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	
トマト類	35,245	23,175	43,216	34,712	ミニ・中玉・大玉合計
セリ	9,850	-	-	-	前年まではランク外
ナス	6,123	11,289	39,873	16,600	
キュウリ	5,768	6,095	-	-	2019、2018年度はランク外
コマツナ	3,498	-	-	-	前年までは実績なし
ジャガイモ	3,000	3,000	3,380	10,350	
ホウレンソウ	1,828	-	-	-	前年までは実績なし
オクラ	1,650	2,200	4,610	12,800	
シュンギク	1,600	-	-	-	前年までは実績なし
タマネギ	1,000	30,848	-	-	2019、2018年度は1万円未満
長ネギ	350	9,500	5,300	13,150	
レタス類	200	5,350	11,600	-	2018年度はその他
その他		21,270	28,853		売上高上位10傑以下の野菜の合計
合計	74,061	112,727	160,182	173,396	

2021年度の売上高10位以内の野菜売り上げを第5表に示しています。

野菜の生産量(販売量)は減少傾向が続いています。これは酷暑の影響もありますが、生産を担当する職員が多忙であることも一因にあります。また、担当者は栽培土壌の硬度に問題があると感じています。作土層の下の心土が硬くなっているために、作物の根張りが悪くなっていることで、特に盛夏に植物体の維持ができなくなっているのではないかとほぼ断定の推測をしています。そのため、順番に「天地返し」あるいは「深耕」を行っています。これによって来年度の生産内容が改善するようであれば、順次全体に両者を行っていきます。

トマト類が全体の50%近くの割合を占めています。ここ数年、上下動はありますが、同様の売上高となっていま

す。セリはバッテリーセンター裏(森氏より借用地)田んぼで「栽培」を始めたため、順調に生産できるようになりました。また、コマツナ、ホウレンソウ、シュンギクは育苗ハウスの冬季期間に栽培を行ってみたところ、順調に生育したため来年度以降は継続することにしています。各作物の生産力が落ちている中、キュウリは昨年度と同じような売上を上げることができました。

今年度は、就労Bの利用者だけでなく生活介護の利用者も生産に携わりました。主に草取りを行いました。それ以外にも定植(植え付け)などにも携わりました。実際に植える作業は難しかったため、「植える苗を運ぶ」「植える職員に手渡す」などの作業でサポートすることができていました。就労Bの利用者に関しては、「天地返し」を実際にスコップを使ってやってもらったりもしています。「畝の上の部分を整地する作業をレーキで行う」作業は、「イメージすることが難しい」「実際に平らになったかが分かりにくい」といった理由で、就労Bの利用者にも困難でした。

⑤田んぼ生産

馬渡の田んぼでは、うるち米(品種;はるみ)を生産しました。今年度の栽培は基本的には職員で行いました(田起こし、代かき、除草)。前年度からの準備や農機具の整備ができていたため、作業が順調に行えました。稲刈りはさくらの家全体として協力して行いました。今年度は、作付け当初から除草を心がけたため、稲刈りの際にも雑草が少なく、稲刈り機も使用可能(昨年度は刈払機で行った。)で、スムーズに作業ができ、収量も増加しました。ただ、収量が多かったため、干す場所が不足するという嬉しい誤算もありました(最終的には、ビニールハウス内で干しました)。

収穫量は約 320 kgで、ここ5年の中では最多でした。前年度は約 115 kgだったので、205 kg増えた。8月に日照不足でしたが、昨年度よりも穂数、穂重ともに多かったように感じました。田植え後からの除草作業がいかに重要であるかを感じました。

稲刈り後の作業(脱穀・籾摺り等)もライスセンター等に依頼せず、農園内で行いました。また、その後の選別作業も毎年冬期間の良い作業となっており、今年度も行いました。

バッテリーセンター裏の田んぼでは、もち米(品種;喜寿糯)を栽培しました。こちらの田んぼは機械が入らないため、すべて手作業となります。そのため、管理がうまくいかず除草作業も困難であるため、収量が上がりません。コロナ禍であったこともあり、田植えのアグリフェスは参加者がおらず、利用者と職員数名で行いました。

収穫量は約 5 kgで、前年度よりも 10 kg減少しています。

今年度は、例年行ってきた「餅つき会」を開催しませんでした。利用者さんと「焼き芋会」参加者には、機械でついた餅を配りました。

第 6 表に 2017 年からの収量を示しています。

第 6 表 2017 年度から 2021 年度のうるち米ともち米の収量および 2020 年、2021 年の売上高

種類	収量						
	2021		2020		2019	2018	2017
	収量(kg)		収量(kg)				
	精白米(円)	玄米(円)	精白米(円)	玄米(円)			
うるち米	320 kg		115 kg		115 kg	180 kg	200 kg
	42,840 円	2,400 円	9,660 円	400 円			
もち米	5 kg		15 kg		3.8 kg	20 kg	40 kg
	3,000 円		2,000 円				

⑥豆パッキング事業

今年度も(株)がいあプロジェクト様からの依頼で、豆のパッキング事業を行いました。

今年度は全部で 21,639 パックのパッキングを行いました。豆の種類は小豆・大豆・黒大豆・手亡豆・金時豆・黒千石大豆・うずら豆と「やむべつメーメーファーム」さんの小豆(150g)、コーヒーがグアテマラ・ルワンダ・メキシコ・ペルー・東ティモール産などでした。

第 7 表 2021 年度 種類別豆パッキング個数と金額

種類	1kg パック		200g・150g パック	
	個数(袋)	金額(円)	個数(袋)	金額(円)
合計	8,058	362,610	13,581	407,430

2)所外作業

①花壇整備

6、9、12、3 月に市役所、図書館の花壇整備を行い、それぞれ 12,000 円分の花苗を植えることができました。利用者は、作業の様子を見て声をかけてくれた通行人に対して、植えた花の名前を答えることができていました。また、通行人の邪魔にならないように、苗や使用する道具を置くこともできていました。

②ブルーベリー収穫

今年度も大井町にあるブルーベリーガーデン旭様で収穫作業を行わせていただきました。今年度は 7 月 日から 9 月 日までの火・木曜日に、合計 4 回行いました。作業は 3 名の利用者を中心に収穫を行いました。ブルーベリーの収穫作業は 10 年目となり、手慣れた感じで収穫作業をできるようになっています。2019 年度から 2021 年度の収穫回数と収量を表 8 に示しています。今年度は日数を減らしたため、収量、利益ともに減少しています。回数を減らしてモチベーションが上がったことと利用者の収穫技術が向上したことで、一日の平均収量は増加しました。

第 8 表 2019 年度～2021 年度のブルーベリー収穫の回数と収量

	2019 年度				2020 年度				2021 年度			
	収量(kg)	回数	平均(kg)	粗利益(円)	収量(kg)	回数	平均(kg)	粗利益(円)	収量(kg)	回数	平均(kg)	粗利益(円)
合計	122.15	14	8.73	264,295	178.13	23	7.74	365,036	147.0	18	8.17	286,065

3)販売活動

利用者が関わった主な販売活動は次表のようになっています。

(第 9-1 表)今年度も、コロナの影響で学校販売、バザー等は、全て中止となっています。そのようななかでも、(株)がいあプロジェクト様の「ひなたマルシェ」は継続して販売に行かせていただきました。マルシェには、多い時で 50 人ほど、少ない時で 20 人ほどの来客があり、そのほとんどは女性客あるいは家族連れでした。そのひなたマルシェをきっかけに絵本と雑貨 okanoue 保育室様からハーバリウムマグネットの受注をいただく事ができ、お試して 30 個納品させていただきました。

日産テクニカルセンター様は、昨年度障害サービス事業所の販売会を行っていただいた関係で、今年度は各事業所の商品を従業者にネット販売していただきました。

(第 9-2 表)卸出荷では、今年も「やまゆり生協」様へ、トマト、ナス、ピーマンを合わせて 532 本出荷しました。地元伊勢原の飲食店である GEN 様には今年度も野菜を納品させていただきました。

晴れ屋様からは引き続きブルーベリーの摘み取り依頼があり、その際野菜も合わせて納品させていただくことができました。

第9-1表 2021年度 販売活動状況

販売場所	販売日	実績	参加利用者数	売上高	平均売上(1回当)
ひなたマルシェ	毎月第3土曜日	11回	11名	65,710円	5,974円
※MOA小田原会館、湘南養護学校、伊勢原養護学校、平塚養護学校での販売はすべて中止					
出展名(販売場所)	月	日	売上高	備考	
日産まごころ販売	3	25	29,970円	日産テクニカルセンター様での委託販売	

第9-2表 2021年度卸出荷状況

卸先	金額			備考
	2021年度	2020年度	2019年度	
やまゆり生協 様	62,280円	67,170円	39,780円	夏野菜苗(トマト・ナス・ピーマン)の出荷 食材としての野菜の出荷 (株)がいあ様 野菜・加工品・ブルーベリー
GEN 様	11,550円	11,000円	6,970円	
晴れ屋 様	64,600円	69,000円	-	